

11年度九州地方発明表彰式

県内4氏も受賞

2011年度九州地方発明表彰式(発明協会主催)が22日、那覇市のホテルロイヤルオリオンで開かれた。写真は、今年には県内から4人が受賞した。

発明協会会長奨励賞に輝いたトマス技術研究所(西原町)の福富健仁社長は、完全自動型高性能焼却設備で特許を取得。リサイクル廃油・廃食油を燃料に、多

種多様なごみに対応する。完全に灰化し、タイヤなども完全焼却でき、急冷却によりダイオキシン類の発生を大幅に抑制したという。そのほかの受賞者は次の通り。(敬称略)
【県発明協会会長賞】翁長秀光(光エンジニア)生ごみ処理装置【発明奨励賞】小渡陽禧・珊瑚酒【奨励功労賞】



島袋周仁(久米島の久米仙社長、県発明協会顧問)

福富氏ら49人九州発明表彰

各県から参加

本年度の九州地方発明表彰(主催・発明協会)が22日、那覇市のホテルロイヤルオリオンであり、九州各県から集



まった29件・49人に文部科学大臣発明奨励賞など各賞を授与した。県内からは同協会会長奨励賞を受賞したトマス技術研究所の福富健仁氏ら4人に賞状が贈られた。写真は、

県発明協会会長賞には光エンジニアの翁長秀光氏が、発明奨励賞には県信用保証協会の小渡陽禧氏、奨励功労賞には久米島の久米仙の島袋周仁社長が受賞した。

県協会の西村聡会長は「厳しい経済環境下、さらなる知恵や想像力を生かした技術開発が求められている。受賞を機に精進し、企業や地域に貢献してほしい」と話した。